

## 都立公園のなかの草原ビオトープ 「バッタ広場」の試み



2005年10月 木を切って明るくなった広場で遊ぶ子ども達

### 1 なぜバッタ広場か

今から考えるとバッタ広場という名前は適当ではなかったようです。目指したのは「草原ビオトープ」ですが、不特定多数の人が訪れる公園のこと、草ぼうぼうの「自然の草原」は理解してもらえず趣旨看板も壊されては直しの連続でした。ところが、バッタ広場という看板を立てたら、いたずらが止んだので、わ

かりやすい名前なのでしょう。

武蔵野崖線の樹林地を中心とした都立赤塚公園の崖上に草地にあります。1999年8月末、わたし達は偶然草刈り直後に行き、草刈り前にたくさんいたバッタがすっかりいなくなったのを見て、芝生のような草地ではそのような環境に住む生き物しかいないことを実感しました。それまでは公園の普通の草地として年に4、5回草刈りされても、生き物に

とってそれほど影響があるとは思わなかったのです。わたし達は東京都公園協会に、生物のためには草刈しない場所も必要だと訴え、「市民が管理する草原ビオトープ」を認めていただきました。会では1999年秋から、公園の廃材をもらって自然の場所の目印となる低い柵をつくり、2000年、東西27m、南北34mの、立ち入り自由のバッタ広場がはじまりました。



1998年 以前は普通の草原

## 2 草原から森へ・遷移する自然の力に圧倒され、生き物の生活に驚く

出来てからシェアリングアース協会の藤本先生にも来ていただいた観察会、植生調査、昆虫調査等を実施しています。最初はオオアレチノギクのような背の高い帰化植物が目立ちましたが、草が茂るにつれて出なくなりました。草本ではチカラシバが主になりました。周囲はかつての雑木林なので実生が出てきます。不思議なことにそのほとんどがエノキで、みるみるうちにバッタ広場に侵入、成長し、3年目から雑木林の萌芽更新直後のようになってきました。2003年4月にエノキを切り、2003年11月にエノキと樹林地から進入するアズマネザサを切り、続いて2005年8月にエノキ、クズ、アズマネザサを切りました。管理は試行錯誤で、様子を見ながら話し合い、少しずつ手を入れています。

2001年9月 2年目の様子



羽化したばかりのゴマダラチョウ



植生の変化につれてバッタ広場の住民の顔ぶれもかわってきました。1年目に多かったバッタやイナゴはやがて少なくなり、キリギ



2002年7月 エノキが目立ってきた

リス類が増えました。エノキの実生が増えるとその葉を食べるさまざまな昆虫が来ます。大きい木ではなかなか見つからないチョウやガの幼虫もここでは間近に見ることができます。エノキの葉を食べるゴマダラチョウは幼虫のほか、羽化したばかりのきれいな成虫がじっとしているのを私は2度も見ました。肉食のテントウムシ、カマキリ、クモなどもバッタ広場の住民です。シオヤアブが自分の体ほどの大きな虫をくわえて悠然と飛んでいく、生き物の世界はすごいなあと感心するばかりです。

## 3 公園に自然の感動を取り戻したい

公園にあるのは遊具と花壇と木、ほとんどが地域に固有の植物ではありません。自然っぽい公園でも刈り込んだ草地や樹林地。頭上に広がる木の枝は立派でも下を見ると下草もない固い土。ススキやチカラシバの原っぱはない。もちろん雑木林伐採直後の「草原でも雑木林でもない空間」もマント群落もない。公園の目的は「市民の憩いの場」で、人の快適性を第一に、草地は草地として、樹林地は樹林地として維持されています。

バッタ広場からわたし達は、いろいろなことを学びました。公園の中にちょっとした環境を用意することによって、生き物が戻ってきて、懸命に生きる姿を私達に見せてくれます。そして私達も自然界の一員であることを教えてくれます。

都会に自然を取り戻すには、公園に「人のためだけの緑地」だけでなく「生物の生息環境」の視点がほしいと思います。このバッタ広場は雑木林の隣に立地しているので、みる

みる自然が戻ってきましたが、造成された何もないところでは長い時間がかかることでしょう。もともとあった自然を残すことの大切さも痛感する毎日です。

坂本郁子

いたばし水と緑の会会員。同会はかつて板橋区周辺にいた動植物が生きていける環境を守り、自然と共存できるまちづくりを目的として、1997年に設立。板橋区内にある都立赤塚公園等を中心に活動している。

<http://homepage3.nifty.com/mizutomidorinokai/>



2005年6月 2003年11月に刈らなかつた右側がブッシュに

この記事は2005年10月ごろ、シェアリング アース協会 藤本氏からの要請があったので作成されたものです。掲載された記事は白黒でB5版3ページにわたっています。